

人物紹介コーナー・散歩道 『本橋 雅壽 病院長』

**昨年12月に院長に昇任。
地域を支える病院に**

昨年12月に、副院長から昇任したばかり。函館中央病院は2020年で節目となる創立90周年を迎え、「このような歴史と伝統のある病院を任される責任の重さに、身の引き締まる思い」と語る。

同病院は、小児・周産期医療、救急医療に力を入れ、北海道がん診療連携指定病院の指定を受けるなど、地域の急性期医療の中核として運営。「今後はこれまでの方針を発展させると同時に、内科系の充実及び施設環境の拡充も検討していきたい」。

少子高齢化、人口減少と医療情勢が厳しい中での院長就任となったが、「新幹線の開通、観光資源など、函館という都市の魅力は大きい。地域を支える医療機関としての役割もあるはず」と前向きだ。



函館中央病院(函館市)
院長 本橋 雅壽 さん

北海道大学医学部第2外科出身で、フランスにも2年間留学。函館中央病院では心臓血管外科の長として、外来、手術も受け持つ。

病院運営のキーワードとして職種間の垣根を超えたチームワークを重視する。経営会議は会議室ではなく院長室で開催し、敷居を低くした。

「各職種がそれぞれの領域のエキスパート。ざっくばらんな声を聞くことが重要」との思いから、「気軽に院長室に来てほしい」とスタッフに呼び掛けている。札幌市出身。